

第100回 日本陸上競技選手権大会(混成競技)サブイベント  
「小学生と保護者のための日本混成競技観戦ツアー」  
～長野県出身元日本チャンピオンが競技や選手の特徴を解説します～

**参加無料**

**2016年6月11日(土)・12日(日)**

**両日とも午後2時集合、午後2時30分開始(予定)**  
**小学生種目の受付時に申し込んで下さい。**  
**(集合場所等はその際お伝えします)**

**参加者には、日本選手権第100回記念IDをプレゼント!!**

## 講師紹介

小川木本 苟女 禾口 (こばやしひろかず)



1956年長野県上田市生まれ。81年順天堂大学大学院体育学研究科修士課程修了。中央学院大学法学部スポーツシステムコース教授。現役時代の専門種目は、陸上競技の十種競技で、79・80年に日本選手権2年連続優勝、79年アジア選手権で第2位。その後、世界選手権やアジア競技大会等のナショナルチーム役員を務め、2005年より国際陸上競技連盟コーチ教育認証課程の国際講師。09年より13年度まで日本オリンピック委員会のナショナルトレーニングセンター専任コーチングディレクター、15年度から日本陸上競技連盟普及育成委員会副委員長(指導者育成部長)として活動している。

内田直美 (うちだなおみ) (旧姓 屋ヶ田)



長野県大町市出身 大町高校→中央大学→日本テレビ  
専門種目は、走高跳・七種競技。1981年アジア陸上七種競技4位。1984年に第68回日本選手権優勝。この年の関東インカレで出した5427点(現行の得点表に換算)は当時の日本記録で現在も長野県記録。同年の日本学生対校の七種競技走高跳でクリアした1m81も単独種目での長野県記録として残っている。  
中央大学卒業後は、日本テレビスポーツ局に勤務し、1987年ローマ世界陸上、1991年東京世界陸上などを担当。94年に長女、97年に次女を出産し、その後も人事・広報・通販等の仕事に就き、現在は、再びスポーツ局にてゴルフ・体操などを担当している。